

ご挨拶

第 24 回分子予防環境医学研究会大会

大会長 澤 智裕

(熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座 教授)

このたび、第 24 回大会長として分子予防環境医学研究会大会を開催させていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。熊本での研究会の開催は 2017 年 2 月に加藤貴彦先生が世話人を務められた第 16 回大会以来となります。歴史と伝統のある本研究会を再び熊本で開催できることを大変光栄に思います。熊本大学に就任してから、熊本地震やコロナ禍を経験し、ヒトの健康と環境要因の様々な相互作用を読み解く社会医学の重要性を強く感じておりました。そこで今回のテーマは「分子科学に立脚した予防医学へのチャレンジ」としました。特別講演では、京都大学名誉教授の小泉昭夫先生と順天堂大学客員教授の永瀬浩喜先生にお願いし、「PFAS とはなにか？ どう立ち向かうのか？」と「変異ミトコンドリア特異的マイトファジー誘導による疾患治療、予防の可能性」というタイトルでご講演頂きます。社会医学において重要な有機フッ素化合物やミトコンドリア変異性疾患に関する基礎および臨床研究に関する先駆的なお話が拝聴できると思います。またシンポジウムでは、「生体と金属を毒性学から理解する」と題して、金属がもたらす多彩な生態影響について先端的な研究を行っておられる 4 名の先生にご講演頂きます。ヒトの健康に深く関わる金属分子に関する最新の研究を拝聴できるこの機会が、今後の社会医学研究の発展につながることを期待しています。

研究会は熊本大学山崎記念館で開催いたします。山崎記念館は、熊本大学のキャンパス内にある歴史的な建物で、1931 年（昭和 6 年）に熊本医科大学の初代学長兼教授であった山崎正董博士の功績を記念して建設されました。この記念館は、熊本大学の歴史と医療教育の発展を象徴する重要な文化財として保存されてきました。冬の熊本は海の幸、山の幸とも豊富で美味しく、天草、阿蘇と観光地も多彩であることから、皆様には是非現地にお越し頂きたいと思っております。研究会では活発な議論を行って頂き、新たな出会いと皆様の研究の発展のきっかけとなることを期待しています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。